

さらば、膳所高校



特別号外

2026年
3月10日

発行
膳所高校新聞班

74期生 卒業生 352名
膳高を旅立つ



▲校長式辞のようす。卒業生らは前日3月2日に同窓会入会式を済ませている。



▲卒業生たちにとっては最後の登校。この日は雨の中での式典となった。

雨天の門出

この日は雨天での挙式 一人の人格や個性がもつ
 となったが、卒業生は教 となつてくる「デ
 職員・保護者らに見守ら ジタル化が進めば、もつ
 れ、高校生活の懐古と将 とたいせつなのはその義
 来への期待が入り混じっ 技術を扱う人間」と話さ
 た表情で式に臨んだ。 された。また、卒業生に送
 卒業生は担任からそれ る金言として「これまで
 ぞれ名前を呼ばれ、学科 はこれからが決め
 の代表者が校長から卒業 る」の言葉で式辞
 証書を授与された。 を締めくくった。
 式辞で校長は、これか 最後に、吹奏楽班
 らの時代は「AI(人工 による伴奏と共に
 知能)を使わないことは 卒業生の歌および
 ありえない」とし、だか 校歌が歌われ、式
 らこそ「あなたたち一人 典は終了した。

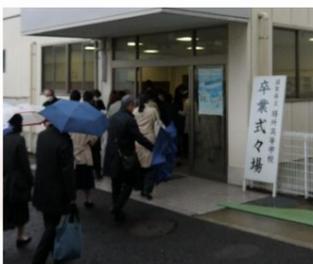
3月3日(火)、膳所高校74期生の卒業証書授与式が挙行された。普通科312名・理数科40名の計352名が膳高を旅立った。

未来への飛翔



▲いざ入場!

▼参列する保護者ら



▲3年生が卒業し、「祝卒業」の黒板アートが残るのみとなったHR教室。=撮影日：3月9日 309教室=

暖かい拍手の中退場する卒業生ら▶

三年間の努力 胸に刻み

式典の後は、教室に集 また、卒業する3年生を
 まって同級生との最後の 送別する催しを行う班も
 時間を楽しんだり、会場 あった。
 4月をもって現在の二
 年生は受験学年となり、
 一年生は学校の中心たる
 二年生に進級する。膳高
 の新たな歴史を創ってゆ
 くのは私たちがだ。



在校生も参加



▲式会場の設営作業を行う在校生

編集後記

「膳高新聞」特別号外をお読
 みいただきありがとうございます。
 す。校長先生の式辞を聞いてい
 て感じたのですが、デジタル化
 AIの時代では「技術を扱う人
 間」のあり方が大事なのだな
 と思えました。在校生が感動し
 ているのは変ではありませんが、
 考えることの多いお話でした。
 それでは、3月号もお楽しみ
 に！(中西)

2026.
3.10